

新入生保護者の皆様へ

2021.4.1

学長 小林淳一

秋田県立大学学長の小林淳一でございます。このたびは、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本学は、教員一人あたりの学生数が8名と、全国トップレベルの少人数教育を行っています。大学生活は、人間形成にとって大変重要な時期です。勉学を通し社会に出たときに必要な基礎知識を身に付けると共に、自ら社会と関わっていく積極性を備えることがとても大切です。そのため本学では、学生自主研究制度を始め様々な特徴ある教育プログラムを用意し、お子様を指導していく所存ですので、よろしく願い申し上げます。

昨年末から新型コロナウイルスの第三波が発生し、1月7日には二回目の緊急事態宣言が、感染者の多い地域で発令されました。それにともない、コロナ感染者を押さえるという観点から、法律に基づいた様々な自粛、規制が行われました。その結果、感染者数は減少し、一定の成果が見られるようになりました。しかし、緊急事態宣言解除後は、首都圏や地方都市でリバウンドの兆候が現れています。また新型コロナウイルス変異株の感染拡大も進行しており、まだ安心できる状態ではありません。コロナを収束に向かわせるためには、ここでもう一段感染者を減らす努力が必要となります。そのためには、今までの感染防止対策だけでは限界が見えてきていると言われていています。ワクチン接種と並行し、どのような具体的な感染防止対策が講じられるか、注目しているところです。

さて、この様な状況の中で、入学式をどのように行うべきか、大学として考えてきました。入学式は、新入生にとっては、高校生活に別れを告げ大学生として希望に向かって新たな決意を確認する重要なイベントです。去年は、新型コロナがどんなものかも分からず、また政府の方針もあって、入学式を中止しせざるをえませんでした。しかし、今年是一年間の経験をもとに、感染防止の方法もだいぶ分かってきましたので、結論として実施することとしました。

しかし、前述したように新型コロナウイルスは収束していません。従いまして、入学式を行うに当たっては、感染防止を十分行う必要があります。そのため、本来は本学講堂で新入生が一堂に会し入学式を執り行うところですが、学生同士の密を避けるため式典はキャンパスごととし、関係者を極力絞っての開催と

させていただきます。今回ご来賓は、どなたも参加されません。従いまして、保護者の皆様にもご参加を見送らせていただくことといたしました。例年ですと式典に参加し、直に学生たちの入学式の様子をご覧の上その場で祝福していただくところですが、それが叶わず、大変申し訳ございません。なにとぞ感染防止のための対応に、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、私からの新入生に向けての式辞は、式典が終了後本学ホームページに掲載しますので、そちらをご覧いただければ幸いに存じます。新入生の皆さんは、これから秋田の地で大学生活を送りながら、自分の将来を考えていくことになります。教職員のきめ細なサポート体制のもと、新入生を迎え入れる準備ができていますのでご安心ください。そしてより素晴らしい大学にしていくために皆様の本学へのご支援、ご協力をよろしくようお願い申し上げます。

以上